

生活科学学習指導案

太田市立宝泉小学校
渡邊 恵子

単元名 はっぱの いろが かわったよ

単元の考察

1 児童の実態

【関心・意欲・態度】

春、夏と公園に行き、春の草花（シロツメグサ・タンポポなど）で遊んだり、夏には虫を探したり、意欲的に活動することができた。また、体験を重ねるにつれ、休み時間にも校庭に出て、植物や虫を探したり、池の周りで笹舟を作って遊んだり、ドングリが緑色をしていることを発見したり自由に活動している。

しかし、活動を通して、不思議に思うことや、分からないことを明確に自覚して、自ら調べたり、聞いたけりなど活動が広がらない。それは、問題意識をもたせるような教師による言葉かけが不十分であったり、解決するための時間の設定が不十分であったりしたためと考えられる。

【思考・表現】

公園や校庭での遊びを通して、見つけた春や夏を友達や教師に自慢するなど、言葉で話しかけてくる児童が多く見られた。また、シロツメグサで指輪やネックレスを作ったり、オオバコももをしたり、自然物を利用して遊びを工夫している児童も多く見られた。

また、テントウムシやバッタ、蝶など虫についての知識が豊富な子どもも数名いる。ただ、活動しているときはいろいろ話してくれたのに、活動の様子や生き物の様子を絵や文で表現する活動になると、どのように表現したらよいか戸惑ってしまう子どもも数名いた。描くことの経験不足や表現する視点や仕方が分からないためと考えられる。

【気付き】

春と夏の公園で遊ぶ中で、自然にはいろいろな生き物がいること、自然物を利用して遊びを工夫すると楽しいことに気付き始めている。また、春と夏では草花や虫などの生き物の様子に変化が見られることに気付いている子どもも数名いる。

しかし、自然や自分たちの生活が、季節の変化に結び付いていることに気付いている児童は少ない。子どもたちが季節の変化に気付くような言葉かけや活動の工夫をしていく必要があると考える。

2 教材観

本単元は、学習指導要領の内容(5)「身近な自然を観察し、四季の変化に気付き、自分たちの生活を工夫したり楽しくしたりできるようにする」とことと、学習指導要領の内容(6)「身の回りの自然を利用したり、身近にあるものを使ったりして遊びを工夫し、みんな遊びを楽しめるようにする。」ことをねらいとしている。

子どもたちは、1学期の「あそびにいこう」の単元で、春と夏に公園に行き、それぞれの季節の中で、自然に親しみながら遊んできている。草花遊びや虫採りをして、春や夏という季節の特徴に触れてきた。しかし、子どもたちはそれぞれの季節の中で遊んだだけなので、季節の移り変わりについての意識が薄い。また、遊びも個人的なものが多く、友達と協力して遊びを工夫する楽しさを味わうところが不十分であった。

そこで、子どもたちが身近な自然とのかかわりを深め、自然の美しさや不思議さ、おもろさなどに気付けるようにするとともに、自分たちの遊びや生活を工夫したりすると楽しいことに気付けるように、活動や場の設定を工夫することが必要であると考えた。

このようなことから、本単元では、対象にふれ、問題意識を醸成する場面では、春・夏がそれぞれの季節の王様から手紙が届くという設定で「なりきり活動」を取り入れ、季節が物語としてつながるようになり、季節の移り変わりを感ぜられるようにする。

次に、対象とのかかわり、気付きが生まれる場面では、五感を使って秋に触れる「王様の秋探しゲーム」を取り入れたり、記録カードを工夫したりしていくことで、自然の不思議さや、すばらしさに気付けるようにしていく。また、「王様を自分たちの秋の国に招待しよう」という投げかけで、自然物や身近にあるものを利用して遊び道具を作る活動を取り入れる。その活動を通して、遊びを工夫することの楽しさや友達と協力することの楽しさに気付けるようにする。

さらに、活動を振り返り、自己を見つめる場面では、単元を物語で展開し、活動してきたことを、国語科の「生活の中から書きたいことを見付け、順序をたどって作文を書く」という学習と習得の科を取り入れる。これは、国語科の身近な題材を使って、表現するという目的にあっていて、生活科の振り返りの時間を十分確保し、自分や友達、自然についての気付きを深めるといった目的を達成する上で有効であると考えた。

以上のことから、子どもたちが、自然に興味・関心をもって積極的にかかわれるようにすることは、自然を大切にしようとする心や、自分たちの遊びや生活を工夫して豊かにしようとする気持ちを育てる上で意義あることと考える。

指導方針及び学習活動への支援

【対象にふれ、問題意識を醸成する過程】

- ・「春の国・夏の国・秋の国」のそれぞれの王様の登場という架空の場面を想定させることで、季節の特徴の違いに気付きやすくするとともに、季節がつながっていることに気付くようにする。
- ・「秋の国」の王様（自然に詳しい外部講師）からの声のメッセージを紹介することで、秋という季節の中で活動していくことへの興味・関心を高め、これからの活動への期待がもてるようにする。【五感を使っての「王様の秋探しゲーム」】
- ・「王様の秋探しゲーム」をしている様子をビデオに撮り、グループの友達と相談している内容や教師の言葉かけなどポートフォリオとして記録しておくことで、児童の振り返り場面や教師の評価に生かせるようにする。
- ・王様と一緒に秋探しをする中で、1枚のカードに見付けたもの一つを貼ったり絵に描いたりし、さらに「もっと知りたいこと」「なぜだろう」ということも記録しておくことで、次の活動（問題解決）に広がるようにする。（「なりきり記録カード1」の活用）

【対象とかかわり、気付きが生まれる過程】

- ・前時に見付けた秋の植物や生き物について、疑問に思ったことやもっと知りたいことをコンピュータや本などで自力解決できるように時間を確保する。（「なりきり記録カード2」の活用）
- ・王様からのビデオレターで「秋の王様の国」の様子を紹介することで、遊びの計画を立てやすくする。
- ・「王様の秋の国で遊ぼう」では、グループの友達と協力しながら体全体で楽しんでいる様子や教師の言葉かけなどポートフォリオとして保存しておくことで、児童の振り返りの場面や教師の評価に生かせるようにする。
- ・危険な箇所や危険な遊びについて知らせ、安全に活動できるようにする。
- ・「王様に活動したことを詳しく知らせよう」という物語の流れに即した投げかけをすることで、友達との交流や自然とのふれあいの様子をカードに詳しく書けるようにする。
- ・秋の自然物や身近にあるものを使って作った遊び道具を用意し、遊びを工夫することの楽しさを知ること、自分たちも遊びを工夫したいという興味・関心がもてるようにする。
- ・遊び道具の計画が立てられない子どもには、教師が作った遊び道具を試させることで、作りたい遊び道具のイメージをもちやすくする。
- ・秋の自然物で作った遊び道具を使って、グループで遊びのルールを考える際、友達との意見交換の場を十分保障することで、より楽しい遊びになるようにする。
- ・各グループで作った遊びをほかのグループと交流して、アドバイスし合う「ためしてみよう」の活動を取り入れることで、より遊びを工夫してみようという意欲がもてるようにする。
- ・遊び道具を作る際、危険を伴う道具に関しては、コーナーを設け、教師の目の行き届くようにし、安全に活動できるようにする。
- ・「ぼくらの秋の国にようこそ！」では、これまで自分たちが用意してきた遊びを、お客さんに喜んでもらえるように、宣伝する場を設定する。
- ・準備や片付けも大切な活動であることを助言し、協力して取り組めるようにする。

【活動を振り返り、自己を見つめる過程】

- ・「秋の国」での活動を題材に、国語との合科学習を取り入れることで、十分に自己を振り返り表現できるようにする。そして、できた絵本を読み聞かせしたり、劇を見合ったりして、感想を伝え合う活動を取り入れることで、頑張ってきた自分や友達がいたことに気付くようにする。【相互評価】
- ・自己評価を工夫することで、自分が頑張ってきたことに気付き、自信をもつことで、生活に生かしたり、次の活動に広げたりできるようにする。【自己評価】

単元の目標

秋の遊び場での遊びや草花、木、虫などの自然とのふれあいを通して、生活や自然の中に見られる季節の変化に気付き、自分たちの生活や遊びを工夫して楽しむことができる。

評価規準

生活への関心・意欲・態度

「あきさがしゲーム」を通して、五感を使いながら、グループの友達と協力して、秋の秘密を進んで見つけようとする。

秋探しの活動の中で、疑問に思ったことや分からないことなどを進んで調べたり質問したりする。

自然の中で、体全体を使って、遊びを工夫しながら楽しく遊ぶことができる。

見付けてきた自然物や身の回りにある物を利用して、意欲的に作ったり、遊んだりする。

活動や体験についての思考・表現

秋探しの活動を通して、感じたこと、分かったこと、不思議に思ったことなどを「なりきり記録カード」に分かりやすく書くことができる。
 秋の自然物や身の回りにある物を使って、遊びを工夫することができる。
 遊び方の工夫や遊びのルールを考え、みんなで遊びを楽しむことができる。
 活動を振り返り、季節の特徴を遊びや生活に生かしていくと楽しいことなどをカードに書くことができる。

身近な環境や自分についての気付き

校庭や公園の自然の様子が、春や夏とは違い変化していることに気付く。
 秋探しの活動の中で、見つけた自然物や身の回りにある物を利用して、みんなで遊びを工夫すると楽しいことに気付く。
 活動を振り返り、頑張った自分や友達と協力して遊ぶと楽しいことに気付く。

指導計画

13・14ページ参照

ー 1 本時の学習 (1 / 21時間)

- 1 ねらい
春や夏での活動を振り返り、季節が変化していることに気付くことができる。
- 2 準備
児童が用意するもの・・・記録カード(春・夏の活動)
教師が用意するもの・・・プロジェクター、ビデオ、掲示物、写真、虫の声(音声)
王様からの手紙(「春の国」「夏の国」)、連想ゲームカード
CDプレーヤー

3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体の評価規 準及び評価方法
<p>【物語の始まり】 1 <u>春の国の王様からの手紙</u>を教師が代読したものを聞いて、自分たちが経験してきた春を振り返る。</p> <p>【手紙】 ほうせん小学校の1年生へ</p> <p>わたしは、はるのくにの おうさまだ。みんながはるのきせつのなかで たのしそうに あそんでいたのを 知っているぞ！ かぜのにおいは どうだったかな？ どんなあそびをしたかな？ どんないきものがいたかな？ くさや、はなはどうだったかな？ おうさまの はるのくにでは、シロツメグサやレンゲのはな、ナツナなどがいっぱいさいていたぞ。とても きれいだったぞ。みんなのはるはどうだったかな？ しりたいな。わたしに わかるように くわしくおしえてほしい。よろしく たのんだぞ！</p> <p style="text-align: right;">はるのくにの おうより</p> <p>予想される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい かぜが ふいていたよ。 ・てんとうむしを みつけたよ。 ・シロツメグサでかんむりをつくったよ。 など <p>2 <u>夏の国の王様からの手紙</u>を教師が代読したものを聞いて、自分たちが経験してきた夏を振り返る。</p>	<p>10</p> <p>10</p>	<p>王様からの手紙の内容に季節を感じられるような視点を示し、活動を振り返りやすくする。</p> <p>(1年生に分かるようにひらがなで書く)</p> <p>友達の発言を聞いたり、ビデオや写真から思い出せるよう言葉かけをする。</p>	<p>【気】 春・夏の活動を振り返り、それぞれの季節の特徴が分かり、季節が変化してきたことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表 ・つぶやき ・ワークシート

【手紙】

ほうせん小のじょくん！

わしは なつのくにの おうじゃ。なつは どうだったかな？ あつかったのう。みんなは、げんきに すごせたかな？ なつは どんなあそびをしたかな？ わしは あつくて みずあびをしたり、木かげでやすんだりしていたぞ。せみのこえも にぎやかで、かぶとむしもたくさんいたぞ。みんなは もっとたのしい なつをすごしたんだろうな。おうさまに おしえておくれ。
それでは、らいねんのなつに 会おう。それまで げんきに がんばるんだぞ！

なつの くにの おうさまより

予想される児童の反応

- ・バツタがたくさんいたよ。
- ・池に笹舟を浮かべて遊んだよ。
- ・プールで泳いだよ。
- ・かぶとむしをつかまえたよ。

3 春と夏のちがうところはどこかを考える。

- ・夏は暑い。
- ・春はあたたかい。
- ・夏は虫がいっぱい。
- ・はっぱのいろは緑色。

10

春との違いに気付いた発言を取り上げたり、教師の発問を工夫したりすることで、季節の変化に着目できるようにする。

4 「あきの れんそうゲーム」をして、秋のイメージをふくらませる。(カード)

【あきに になると・・・】

- ・どんぐりが落ちている。
- ・はっぱのいろが、あかやきいろになる。
- ・はっぱが おちる。
- ・涼しくなる。
- ・半袖ではなくて、長袖になる。

15

ゲームに入る前、秋の雰囲気を出すために、虫の声(CD)を聞かせ、秋を連想しやすくする。秋の連想ゲームをすることで、これからの秋の学習に向けての見通しをもちやすくする。秋の季節が連想できない児童には、ヒントを与え、考える視点を示してやる。

など

ー 2 本時の学習(2・3 / 21時間)

1 ねらい

「王様の秋探しゲーム」を通して、秋の自然物に五感を使って触れることで、秋の特徴に興味・関心をもって探ることができる。

2 準備

児童が用意するもの・・・たんけんバッグ、えんぴつ

教師が用意するもの・・・「おうさまの あきさがしゲーム」問題カード(グループ)
「あきさがしチェックカード」(個人)、セロテープ、ビデオ自己評価シート(個人)

3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における具体的評価規 準及び評価方法
<p>【秋の国の王様からのメッセージ】</p> <p>1 王様のメッセージ(「おうさまのあきさがしゲーム」のやり方)を聞き、グループで協力して、宝泉小の秋の秘密を探す。</p> <p>【声のメッセージ】</p> <p>宝泉小の1年生のみんな、わたしが秋の王様だ。みんな、元気に勉強や運動、遊びなどががんばっているかな。宝泉小の秋はどうか？ 葉っぱの色は、どんな色になったかな？ 虫や草はどうか？ 不思議がいっぱいだろうな。</p>	20	<p>【王様の声のメッセージ】という想定で、活動に興味・関心がもてるようにする。</p> <p>やり方のポイントを教師がもう一度確認することで、活動がスムーズに運べるようにする。</p>	<p>関・意</p> <p>「おうさまのあきさがしゲーム」を通して、五感を使いながら、グループの協力して秋の秘密を見つけている。</p> <p>・観察</p>

これから、わたしが、みんなに秋の秘密についての問題をだすぞ。それは、「王様の秋探しゲーム」といって難しいぞ！分かるかな？とにかくがんばってくれたまえ。それでは、ゲームの説明をするぞ。よく聞いて間違えないようにがんばってくれたまえ。

【ルール】

それぞれのグループに一組、問題カードを渡す。そこには、秋に関係するものが書かれている。よく読んで、見付けるのだぞ。見付けた秋のものは、そのままカードにセロテープで落ちないように貼り付けるのだぞ。このゲームは、グループで協力してやらなければならない。相談しながら見付けるのだぞ。これはグループ対抗のゲームだから、ほかのグループに分からないように内緒でやらなければならない。制限時間は45分間。45分経ったら先生に笛を吹いてもらう。笛の合図でできなくても戻ってくるように。

* ルールを守って、グループの友達と協力して、がんばるのだぞ！
健闘を祈る。

・問題カード
・秋探しカード
・チェックカード
(自己評価)

予想される児童の反応

- ・このはっぱのいろはまざっているからだめかな？
- ・赤ちゃんのてのかたちをしてるはっぱってあったかな？
- ・ぼく、見たことがあるよ。こっちだよ。
- ・このにおいは、なんのにおいかな。
- ・さわってみるとちくちくしてるよ。
- ・王様の問題、難しいね。でも、頑張ろう。

などと、相談しながら活動をしている。

- 「あきさがしチェックカード」を書く。
- 活動を振り返る。

45

むやみに枝を折ったり花を摘んだりしないように助言する。振り返りの場面(教師・児童)で活用できるように、活動の様子をできるだけビデオに撮っておく。活動についていけなかったり、友達の触れ合いの場に入れない児童には、一緒に行動しながら、自信がもてるようにする。



25

早く終わったグループには、秋探しチェックカードを記入し活動を振り返りながら待つようにする。

一 3 本時の学習 (4・5 / 21時間)

- ねらい
春・夏と遊んだ公園に行き、秋を五感を使って自由に探す中で、もっと知りたいことや疑問に思ったことをカードに表現することができる。
- 準備
児童が用意するもの・・たんけんバッグ、筆記用具、ポケット図鑑、活動する際に使う道具(各自、計画に沿って、虫かごや虫取りあみなど)
教師が用意するもの・・「なりきり記録カード1」、ビデオ、デジタルカメラ
- 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における具体的評価規 準及び評価方法
<p>1 「王様の ×クイズ」を考え、解答する。</p> <p>【問題】スケッチブックに 一問ずつ書いておく 中央公園には、ドングリの木が3本ある。か×か テントウムシは花の蜜を吸って生きている。か×か。 トノサマバッタの食べ物は小さな虫である。か×か。</p>	90	<p>事前打ち合わせをしっかりとしておく。 (打ち合わせの留意点)次頁参照 自然に詳しい人に来てもらい、一緒に活動する中で、もっと知りたいとか、不思議に思う気持ちを強くもてるように、「王様の ×クイズ」をしてもらう。</p> <p>採集していい物・いけない物、触っていい生き物・いけない生</p>	<p>思・表 秋探しの活動を通して、感じたこと、分かったこと、不思議に思ったことなどを「なりきり記録カード1」に分かりやすく描くこと</p>

イチヨウにも男の子の木と女の子の木がある。か×か。
ドングリには仲間が10種類より多い。か×か。

2 春・夏と遊んだ公園に行き、秋の秘密を探したり、遊んだりする。

3 活動しながら、見付けた秋を「なりきり記録カード1」に描いたり、貼ったりする。

「カメラマン」や「新聞記者さん」になったつもりで、たくさん秋の秘密を探してみよう。

予想される児童の反応

- ・秋になったら赤くなってるよ。
- ・葉っぱがたくさん落ちてる。
- ・王様、これは何の実ですか？
- ・こおろぎかな？春にはいなかったよ。
- ・王様、この幼虫、なんの幼虫ですか？

などと、王様に質問したり、記録したりする。

き物があることを知らせる。

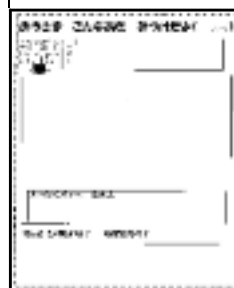


図鑑に載っているような物を一緒に見付けたり、友達と交流するように促したりして、意欲がもてるようにする。

見付けた秘密をカードに描いたり貼ったりしながら、活動するように助言する。春や夏との違いに気付けるように言葉かけをする。王様には、すべて質問には答えない(植物の名前程度)で、自分で調べたいという気持ちがもてるようにしてほしいことを、事前をお願いしておく。振り返りの場面(教師・児童)で活用できるように、活動の様子をできるだけビデオに撮っておく。学校に戻り、忘れないうちにカードを整理することで、次の調べ学習につながるようにする。

できる。

- ・「なりきり記録カード1」
- ・観察



【外部講師との事前打ち合わせにおける留意事項】

1週間前

・自然を扱う内容なので、あまり早くは打ち合わせできない。

活動場所の下見

・自然の中での活動なので、活動場所の下見をしながら、児童の活動を一緒に予想しておく。

児童への支援・言葉かけのお願いについて

・児童の質問に対してすべて解答してしまわないで、「自分で調べてみたい」「なぜだろう」という気持ちになるような支援や言葉かけをしてほしいことを伝えておく。

【例】・植物や生き物の名前などは教えてもかまわない。

・児童が考えるヒントとなるような言葉かけをしてほしい。

(逆に児童に質問をしてしまってもいいことを伝える。)

・季節の変化(春・夏・秋)と自然の変化が結びつくような言葉かけをしてほしい。(春・夏と振り返られるような言葉かけ)

当日の大まかな授業の流れについて

・王様の登場

・王様のお話(秋の自然のことなら何でも知っているよ。など)

・「王様の○×クイズ」(事前に担任が考えておいたものを渡しておく。なぜなら、児童の実態が分からないと問題が考えられないため。簡単すぎても難しすぎてもだめなので)

・先生からの活動の説明(「なりきりカード」の書き方・公共の場のマナーの確認)

・活動(終了時間の確認)

・終わりのお話(児童の活動の様子や感想を話してもらう)

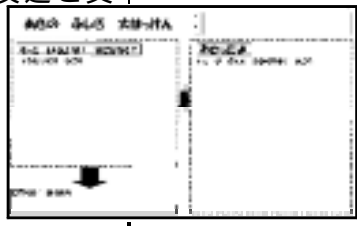
－4 本時の学習(6/21時間)

1 ねらい

秋探しの活動の中で、不思議に思ったことやもっと知りたいことを、進んで調べたり質問したりして、自力解決することができる。

- 2 準備
 児童が用意する物・・「なりきり記録カード2」、図鑑など(もっている児童)
 教師が用意する物・・実物投影機(OHC)、ビデオ、図鑑、

3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体的評価規 準及び評価方法
<p>1 公園の秋探しのビデオを見たり、休み時間の活動を振り返る。</p> <p>2 前時の秋探しの活動の中で記録した「なりきり記録カード1」を整理し、その中で疑問に思ったことやもっと知りたいことを調べたり、質問したりして、「なりきり記録カード2」にまとめる。</p> <p>「はかせ」になって、王様や友達に教えてあげよう。</p> <p>予観される児童の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしは「どんぐり はかせ」になるう。 ・ぼくは「はっぱ はかせ」になるう。 ・ぼくは「むし はかせ」になるう。 <p>3 調べたことを、掲示板に貼って、お互い見合う。(授業時間外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくの調べたのと同じだ。 ・わたしが調べようとしたけど分からなかったものだ。 ・これ、すごい。初めて知ったよ。 	90	<p>秋探しの活動を振り返ること で、季節の変化や自然の不思議さに気付けるようにする。 季節の変化に気付いたり、珍しい物を発見したりしたものがあれば、OHC(実物投影機)で全体に紹介して、本時の学習への目的意識や意欲をもちやすくする。 自分が持っている図鑑や図書室の本を見て調べてもよいことを知らせ、自力解決できる場を設定する。</p> <p>調べることに滞っている子には、一緒に考えたり、友達と交わったりするよう助言する。</p> <p>調べたことは、随時掲示板に貼れるようにし、友達の疑問と自分の疑問を比べたり、友達の調べたものを参考にできるようにする。</p>	<p>関・意</p> <p>秋探しの活動の中で疑問に思ったことやもっと知りたいことを進んで調べようとする。</p> <p>・「なりきり記録カード2」 ・観察</p> 

ー 5 本時の学習(7・8・9・10 / 21時間)

- 1 ねらい
- ・自然の中での遊びを計画し、体全体を使って、遊びを工夫しながら、楽しく遊ぶことができる。
 - ・活動を振り返り、遊んだ様子や遊びを通して発見したことを、詳しく表現することができる。
- 2 準備
- 児童が用意する物・・遊びの計画書(各班)、たんけんバック、図鑑など(もっている児童)、遊びに使う道具、植物採集バック
- 教師が用意する物・・ビデオ、図鑑、画用紙、セロテープ、マジック、木工用ボンド
 振り返りカード「おうさま あのね」、自己評価カード
 話合いカード(各班1枚)

3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体的評価規 準及び評価方法
<p>【王様の国で遊ぼう】 《遊びの計画作り》</p> <p>1 王様から頑張ったことを認めてもらい、「王様の秋の国」(円福寺)に招待される。</p>	45	<p>円福寺の様子を撮ったビデオを見せることで、自然の中で遊ぶことに気付かせ、遊びの計画を立てやすくする。 「王様の秋の国」についての説</p>	<p>思・表</p> <p>グループでの遊びの工夫や遊びのルールを話し合い、</p>

<p>(秋の王様のビデオレター)</p> <p>2 秋の国パスポート(遊びの計画書)を各班ごとにもらう。</p> <p>3 班ごとに遊びの計画を立てる。</p>		<p>明を聞くことで、次の活動への興味・関心がもてるようにする。</p> <p>既製の道具を使った遊びではなく、自然の中で工夫して遊ぶものを考えるように助言する。</p>	<p>計画を立てることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の国パスポート ・観察
<p>《遊びの実行》</p> <p>4 計画に沿って、王様の秋の国で遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんぐり拾い ・秋探し ・はっぱのシャワー ・木登り ・かくれんぼ ・秋のものを使って簡単な製作活動(はっぱの押し絵・お面作りなど) 	<p>90</p> <p>移動も含む</p>	<p>交通ルールをしっかりと確認し、事故に遭わないようにする。公共の場なので、採集したり遊んだりできるものと、できないものがあることを指導する。危険箇所・危険な行為について確認をし、安全面に十分配慮する。</p> <p>遊びが広がるような道具も用意しておき、自由に使えるようにする。</p> <p>活動が滞ってしまった児童には、友達とのかかわりを促す。振り返りの場面(教師・児童)で活用できるように、活動の様子をできるだけビデオに撮っておく。</p>	<p>【関・意】</p> <p>計画に沿って、体全体を使って遊ぶ工夫が楽しく遊ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観察 ・振り返りカード(自己評価)
<p>5 活動の振り返りカード「おうさま あのね」を書く。</p> <p>6 自己評価カード「がんばったよカード」を書く。(他者評価も含む)</p>	<p>45</p>	<p>活動の様子を王様に報告するという設定で、振り返りやすくする。</p> <p>活動のビデオを視聴することで、報告する内容を考えやすくする。</p> <p>活動の楽しさを振り返ることで、自然のすばらしさを感じられるようにする。</p> <p>自己評価の中に、友達への評価を加えることにより、友達のよさにも気付けるようにする。</p>	<p>【思・表】</p> <p>遊んだ様子や発見したことを絵や文で王様に分かりやすく書くことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助的な「なりきり記録カード「おうさま あのね」 ・自己評価カード

ー6 本時の学習(11/21時間)

- ねらい

秋の自然物や身の回りにあるものを利用して、作って遊ぶ道具を絵や言葉で設計図に描くことができる。
- 準備

児童が用意する物・・・各自集めた秋の自然物
 教師が用意する物・・・遊びの本、遊びの計画書(道具の設計図) など
- 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における具体的評価規準及び評価方法
<p>【秋の国の王様を招待しよう】</p> <p>1 秋の国で遊ばせてもらったので、「今度は自分たちの秋の国に王様を招待しよう」という課題をもつ。</p> <p>《秋の王様からの手紙》</p> <p>宝泉小の1ねんせいのみんな、あきのくには「どうだったかな? みんなが かいてくれた「おうさま あのね」をよんだぞ。みんな たのしかったようだな。あきのくには、ふしぎなものやたからものがたくさんあったのに、きついたらかな。わしは、あきのくにが だいすきじゃ。みんなは どうかな? それと、みんなが しぜんをたいせつにつかってくれたので、おうさまは、うれしいよ。ありがとう。これからも しぜんを たいせ</p>	<p>5</p>	<p>王様の秋の国で遊んで楽しかったことを振り返ることで、今度は自分たちの秋の国を作り、王様を招待したいという気持ちがもてるようにする。</p>	

つにして みんなで まもってほしい。また いつでもおいで。

<p>【王様を宝泉小の秋の国に招待しよう】</p>	40	<p>王様からの手紙をもらうという設定にすることで、自然のものを利用してもっと楽しい遊びを工夫したいという興味・関心が高められるようにする。計画が立てられない児童には、作りたいもののイメージがわかるように、教師が作った遊び道具をいくつか用意し、支援する。材料を考えながら、計画をしっかり立てるよう助言する。作りたいものが早く決まった児童には、遊び方まで考えるように助言する。</p>	<p>思・表</p> <p>秋の自然物や身の回りにある物を利用して、遊び道具を絵や言葉で描くことができる。</p>
		<p>・計画書 ・観察</p>	

ー7 本時の学習(12・13・14・15・16・17 / 21時間)

- ねらい
秋の自然物や身の回りにあるものを利用して、遊ぶ道具や遊びを工夫しながら作ることができる。
- 準備
児童が用意する物・・・計画書、各自集めた秋の自然物、材料、のり、はさみ、ボンドなど
教師が用意する物・・・作るために使う道具(カッターナイフ、穴あけ機、紙類、マジックなど)
児童が用意できない材料、アドバイスシート

3 展開 (2時間続きの3コマ・・・計6時間)

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体の評価規 準及び評価方法
<p>【宝泉小、秋の国の準備】</p> <p>1 道具の使い方を体験する。</p> <p>道具コーナー ・カッターナイフ ・どんぐり穴あけ機</p> <p>2 計画に沿って、集めた材料を使って、いろいろ試しながら工夫して作る。 (同じような遊び道具を作るグループごと)</p>	15 75	<p>危険を伴う道具に関しては、場所を限定して、教師の目が行き届くようにする。 道具の正しい使い方を全員に体験させ、危険のないようにする。友達同士、協力しながら、取り組めるように見守る。 制作が滞っている児童には、見本の道具を試させたり、友達とかわりながら進められるように助言する。 工夫している児童には、賞賛してそのよさが全体に広がるようにし、自信をもって活動できるようにする。</p>	<p>関・意</p> <p>秋の自然物や身の回りにある物を利用して、試しながら意欲的に作っている。 (観察・作品)</p>
<p>3 遊びのルールを考える。 ・招待した人や、友達が楽しく遊べるように、分かりやすくまとめる。</p>	90	<p>遊びを試しながら、ルールも考えるように助言する。 話し合いカードを利用し、話し合いのリーダーはみんなの意見を聞き、まとめられるようにする。</p>	<p>思・表</p> <p>楽しく遊ぶためのルールや遊び方を工夫して考えることができる。 (観察・ルール表)</p>
<p>【ためしてみよう】</p> <p>1 ほかのグループの遊びを試して、アドバイスし合う。</p> <p>2 アドバイスシートを見ながら遊びを改善し、よりよいものにする。</p>	90	<p>遊びを教える側と教わる側の両方を体験することで、自分の役割が明確になるようにする。 一つの遊びに夢中になってしまいう児童には、活動の目的(アドバイスし合う)が分かるように助言する。</p>	<p>思・表</p> <p>試しの活動を通して、アドバイスし合いながら、遊びを工夫することができる。 (アドバイスシート・観察・作品)</p>

－ 8 本時の学習 (18・19 / 21時間)

- 1 ねらい
工夫して作った遊びを、招待した人や友達と仲良く遊ぶことができる。
- 2 準備
児童が用意する物・・・遊び道具、必要な道具、
教師が用意する物・・・児童が用意できない材料など、ビデオ
- 3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体の評価規 準及び評価方法
【宝泉小、秋の国によ うこそ】 1 秋の国の開国式をする。 (学年全体)多目的ホール ・はじめの言葉 ・王様の言葉 ・遊びの紹介(全グループ)	15	開国式を行うことで、みんなで 仲良く、楽しく遊ぶことの意識 を高められるようにする。	関・意 工夫した遊 びを、招待し た人や友達と 仲良く楽しそ うに遊んでい る。 ・観察
2 各クラスに分かれて、楽し く遊ぶ。	35	前半・後半で役割(遊び方を教 える人、遊ぶ人)を交代させる ことで、責任感を養うようにす る。 遊びに交われない児童には、一 緒に遊んだり、友達とかわつ たりするように支援する。	
3 秋の国の閉国式をする。 (学年全体)多目的ホール ・はじめの言葉 ・王様の言葉 ・お礼の言葉	10	頑張っていて活動していた様子 を紹介することで、充実感・満足 感がもてるようにする。	
4 協力して片付けをする。	15	できるだけゴミにならないよ うに工夫して片付けるように助言 する。	
5 各クラスごとに振り返りカ ードを書く。	15	自己評価の観点の中に、頑張 った自分や友達がいたことに気付 いたり、遊びを工夫すると楽し いことに気付いたりできるよう な内容を盛り込む。	
			気 自然のものな どを利用して 遊びを工夫す ると、楽しい ことに気付く。 ・振り返りカ ード

－ 9 本時の学習 (20・21 / 21時間)

- 1 ねらい
活動を振り返る表現活動(自作の絵本の読み聞かせや劇の発表)を通して、頑張った自
分や自然の中で遊ぶ楽しさ、友達と協力して遊びを作り出す楽しさに気付くことができる。
- 2 準備
児童が用意する物・・・絵本班(絵本) ・劇班(劇に使う道具、シナリオ)
教師が用意する物・・・感想カード(しおり)、自己評価カード、ビデオ
- 3 展開

学 習 活 動	時 間	指導上の留意点及び支援の工夫 指導上の留意点 特に配慮を要する児童への支援	学習活動における 具体の評価規 準及び評価方法
1 【絵本班】秋の国での活動を 振り返って作った絵本を劇班 の友達に読み聞かせる。 2 劇班の児童は、感想カード (しおり形式)に書いて渡す。 【相互交流】	45	友達の描いた絵本を読み合い、 感想を書いて渡し、相互交流さ せることで、自然の中で遊ぶ楽 しさや友達と協力して作った秋 の国で遊んだ楽しさを味わえる ようにする。	気 友達の絵本 を読み合い、 自然の中で活 動してきた自 分や友達、自

<p>TTによる役割演技</p> <p>T1: 教師が作った絵本を読む。</p> <p>T2: 感想カード(しおり)の書き方が分かるように、見本を示す。</p> <p>3【劇班】劇を発表する。</p> <p>4 絵本班の児童は、感想カード(しおり形式)に書いて渡す。</p>	<p>TTを取り入れ、相互交流の仕方を示し、感想カードには、書き方の感想(絵が上手に書けています。など)ではなく、内容について共感したところを感想に書けるようにする。</p> <p>自分が読み聞かせした劇班の友達に書いて渡すようにする。</p>	<p>然のすばらしさに気付くことができる。</p> <p>・感想カード(しおり形式)</p>
<p>5 今までの活動を振り返り、自己評価をする。</p>	<p>自己評価を取り入れることで、活動全体を見つめ、自然とのかかわりが深かったことに気付けるようにする。</p>	<p>表</p> <p>活動の振り返りを季節ごとの活動に書く。返特生と生活と書く。ドが・ド</p>

劇班の人に読み聞かせをしているA児

「どんぐりの たび」
 ここは、どんぐりの木がたくさんある、どんぐりの森です。……どんぐりが、かぜにのっておちてきました。……



自作の劇を発表する児童

私は、春のお姫様。やっと春が来て暖かくなったね。花さんや小鳥さんや虫さんが出てきたね。みんなで楽しく遊ぼう。みんなで、森のみんな出でて、一緒に遊ぼう。



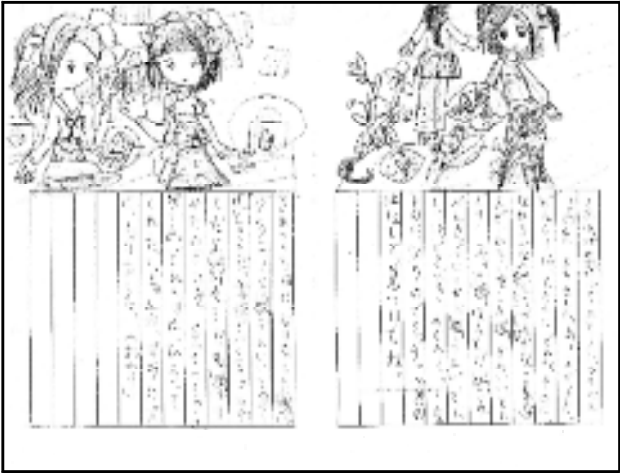
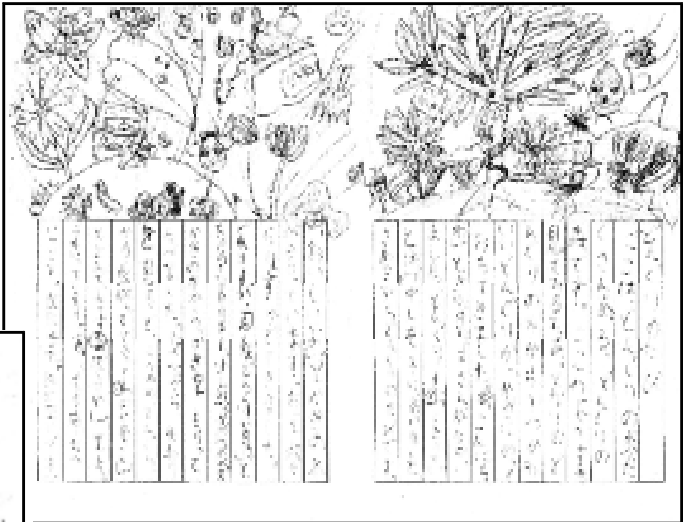
「どんぐり 九さい」
 はじめは、どんぐりの木とはおもえませんでした。1年めは、小さいどんぐりの木なのです。……「八年もどうしてかかるの？」……



ぼくは、秋の国の王様だ。なんか鳥とかの音がするな。虫とかの声もするな。



自作の絵本
紹介

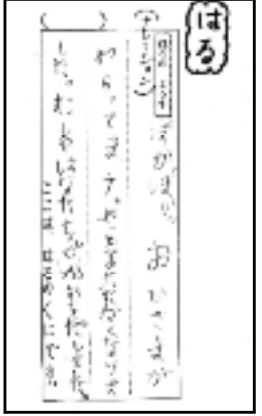
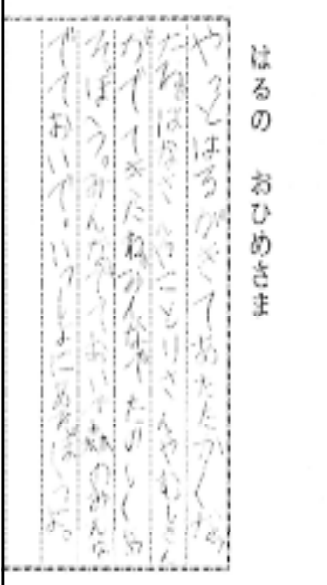
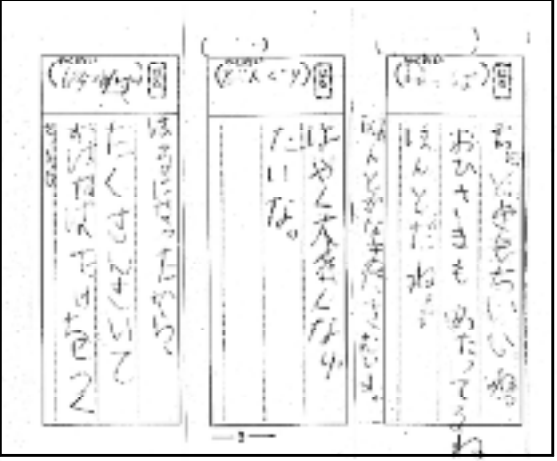


その他の児童も、自然の生き物を擬人化したり、季節の移り変わりを自由に表現することができた。

へこの後、夏・秋
と続いていく。



自作の
劇のシナリオ
一部抜粋



4 活動及び指導計画（生活科 全21時間）+ 国語科6時間

時間	学習活動	支援及び指導上の留意点	規 準			評 価 基 準			評価資料 (方法)	
			関 意 態	思 考 表	気 付 き	3	2	1		
対 象 に ふ れ 見 通 し 1	1 物語の始まり 春と夏を振り返り、 季節の変化に気付くこ とができる。 【活動の振り返り】 春の国の王様 からの手紙 (春の国の王様から手 紙が届く) 自分たちが体験した 春の様子を王様に分か りやすく報告する。 (発表)	春や夏に体験してきた場面 のビデオや写真を提示するこ とで、季節の変化に気付き易 くなる。 王様からの手紙の内容に季 節を感じられるような視点を 盛り込み、季節の変化に着目 できるようにする。 王様に自分たちの春や夏を 知らせたいという思いがもて るように、投げかける。				春・夏の活動を振 り返り、それぞれ の季節の特徴から 秋へと季節が変化 してきたことに気 づく。	春・夏の活動 を振り返り、季 節の特徴から 秋の季節の特 徴を10個以上 カードに書く ことができる。	春・夏の活 動を振り返り、 季節の秋の特 徴を8個以上 カードに書く ことができる。	春・夏の活 動を振り返り、 季節の秋の特 徴を5個以上 カードに書く ことができる。	・観察 ・秋の連想カー ド
	夏 の 国 の 王 様 か ら の 手 紙 (夏 の 国 の 王 様 か ら の 手 紙 が 届 く) 自 分 た ち が 体 験 し た 夏 の 様 子 を 王 様 に 分 か り や す く 報 告 す る。 秋 の 連 想 ゲ ー ム を す る。	友だちの発言を聞いたり、 ビデオや写真から思い出せる よう言葉かけをする。 秋の様子を自然や生活の中 から自由に思い描けるように 資料を提示する。(写真)								
意 識 を 醸 成 す 見 通 し 1	2 秋の国の王様 「おうさまのあきさ がしゲーム」を通して、 草木や落ち葉、虫など 五感を使って触れ合い、 秋の秘密に興味・関心 をもって探ることができる。 【秋の国の王様から声 のメッセージが届く】 宝泉小の秋の秘密を 探そう。 【おうさまのあきさが しゲーム】 ・五感を使いながら、 グループで協力してゲ ームをする。 「あきさがしチェッ クカード」で自分の活 動の様子を振り返る。 (自己評価)	王様のメッセージの中で、 「あきさがし」を紹介し、 活動への意欲につながるよ うにする。 ゲームの問題も擬人化した しめるようにする。 教師も王様のゲームに取り 組んでいるかのように取り 組んで、児童の発する言葉に耳を 傾け、自然の中での発見を共 に喜び合うようにし、活動へ の意欲をもたせる。 活動の様子をできる範囲で ビデオに撮って、振り返りの 場面で活用できるようにする。 秋探しの活動を振り返り、 チェックカードに書くことで、 自分がグループのみんなと頑 張ってきたことに気付けるよ うにする。			「王様の秋探しゲ ーム」で、秋の秘 密を進んで見つけ ようとする。	時間内にすべ て(10個)解 くことができる。 (グループ)	時間内に8 個解くこと ができる。 (グループ)	時間内に5 個解くこと ができる。 (グループ)	・観察 ポートフォリ オなど) ・グループのカ ード	
対 象 と 見 通 し 2	3 王様の登場 身近な秋を、五感 を使いながら、自由に探 す中で、発見したこと や疑問に思った事をカ ードに表現することが できる。 春・夏と遊んだ公園 に行き、五感を使い ながら自由に秋を探 す。 【なりきり記録カ ード1】 ・もっと知りたいな ・なぜだろう など	【王様】自然のことに詳し い人に頼んでおく。 【外部講師の活用】 採集していい物そうでない 物、触ってはいけない植物や 昆虫がいることを知らせる。 王様(外部講師)には、一 緒に活動してもらい、春と夏 との違いに気付くように言葉 かけをしてもらう。 活動が途切れないで、自分 の思いや願いが自由に書ける ようにカードを用意しておく。 図鑑に載っているような物 を見つけたら、友だちと交流 したりするように言葉かけを する。			秋探しの活動を通 して、分かったこ と、不思議に思っ たことなどを「な りきり記録カ ード」に分かりや すく書くことが できる。	五感を使いな がら、秋の秘 密を5枚以上 カードに書く ことができる。	五感を使い ながら、秋 の秘密を3 枚カードに 書くことが できる。	五感を使い ながら、秋 の秘密を1 枚カードに 書くことが できる。	・「なりきり記 録カード1」 ・観察 (ビデオによる ポートフォリ オなど)	
対 象 と 見 通 し 2	秋探しの活動の中で、 不思議に思ったことや もっと知りたいことを、 進んで調べたり質問 したりして、自力解決 することができる。 もっと知りたいこと を調べたり質問したり する。 【なりきり記録カ ード2】	秋探しの活動を振り返るこ とで、季節の変化や自然の不 思議さを調べてみたいとい う意欲がもてるようにする。 パソコンや図鑑で調べても よいことを知らせ、調べ方 法を考えさせ、自力解決 できるような場を設定する。 調べるのが滞っている児 童には、友だちと交流させたり 、助言したりする。			秋探しの活動の中 で、疑問に思っ たことや分から ないことなどを 進んで調べたり、 質問したりする。	秋探しの活動 の中で、疑問 に思ったこと や分からない ことをすべて 解決すること ができる。	秋探しの活 動の中で、 疑問に思っ たことや分 からないこと を5割以上 解決すること ができる。	秋探しの活 動の中で、 疑問に思っ たことや分 からないこと を3割以上 解決すること ができる。	・「なりきり記 録カード2」 ・観察 (発表)	
対 象 と 見 通 し 2	自然の中での遊びを 計画することができる。 秋の国(円福寺)に ついて、王様からのビ デオレターで説明を聞 く。 秋の国(円福寺)に 行って遊ぶ計画を立て る。《補助的な「なり きり記録カード」》	王様の国に招待するとい うような投げかけをして もらい、次の活動への期 待をもたせるようにする。 【事前打ち合わせ】 遊ぶ計画が立てられ ない児童には、友だち と相談したり、遊 びの本などを参考にす るよう言葉かけをする。			グループで遊びの 工夫や遊びのル ールの計画を立て ることができる。	自然を利用し た遊びの工夫 を3つ以上計 画することができる。	自然を利用 した遊びの 工夫を2つ 以上計画す ることができる。	自然を利用 した遊びの 工夫を1つ 以上計画す ることができる。	・補助的な「なり きり記録カ ード」 ・観察 (グループでの し合いの様子 など)	
対 象 と 見 通 し 2	4 王様の秋の国 で遊ぼう 自然の中で遊びを 工夫して、みんな で楽しく遊ぶこと ができる。 計画にそって、秋の	危険のないように注意する。 秋を体全体で感じられるよ うに言葉かけをする。 公共の場なので、マナーに ついて確認する。 活動が滞ってしまった児童			計画に沿って、自 然の中で、体全 体を使って、遊 びをしながら楽 しく遊ぶことが できる。	活動したこと を振り返り、自 己評価カード に5個全部 の星を付ける ことができる。	活動したこと を振り返り、自 己評価カード に3個星を付 けることが できる。	活動したこと を振り返り、自 己評価カード に1個星を付 けることが できる。	・観察 (ビデオによる ポートフォリ オなど) ・ふりがりカ ード(自己評	

		国で遊ぶ。(円福寺) ・どんぐり拾い ・はっばの貼り絵 など	には、友だちとかかわれるよう支援する。					できる。	できる。	価カード)
気	1	遊んだ様子を報告書にまとめる。 《補助的な「なりきり記録カード」》 ・秋の様子 ・発見したこと ・自分の思い	活動した様子を王様に詳しく報告するという設定で、「なりきり記録カード」を意欲的に書きけるようにする。 報告書の書き方が分からない児童には、どの場面が知らせたいかを聞き、助言する。			遊んだ様子や発見したことを絵や文で王様に分かりやすく書くことができる。	遊んだ時や持ち物が2個以上書ける。	遊んだ時や持ち物が1個以上書ける。	遊んだ内容が書ける。	・補助的な「なりきり記録カード」 ・つぶやき
付	1	5 王様を招待しよう 招待する人や自分たちが楽しむことができるように遊びの計画を立てることができる。 自分たちの秋の国に王様を招待する計画を立てる。 《補助的な「なりきり記録カード」》	教師が用意した遊び道具(自然の物を利用したもの)を提示することで、楽しい遊びを工夫したいという意欲がもてるようにする。 子どもたちの意見を取り入れながら、計画づくりができるように言葉がけをする。			秋の自然物や身の回りにある物を利用して、遊び道具を絵や言葉で描くことができる。	秋の自然物や身の回りを利用して、つくった遊び道具を言葉で描くことができる。	秋の自然物や身の回りを利用して、つくった遊び道具を言葉で描くことができる。	秋の自然物や身の回りを利用して、つくった遊び道具を言葉で描くことができる。	・補助的な「なりきり記録カード」 ・観察
が	4	6 秋の国の準備 自然物や身の回りがある物を使って、工夫しながら遊びの道具や遊びを作ることができる。 計画に沿って、材料を集め、いろいろ試しながら、工夫して作る。 秋のものを使って、飾り付けなども工夫する。 遊びのルールを話し合う。 ・ルールをまとめる。 ・ルールを大きな紙に書く。 など	材料については、計画したときあらかじめ用意させておく。 危険な作業は、場所を決めておき、教師の目が行き届くややすくしておく。 道具の正しい使い方はしっかり指導し、危険のないようにする。 招待した人が、楽しんでもらえるにはどうしたらよいかを考えながら準備するように支援する。			見つけてきた自然物や身の回りについて、意欲的に作ったり試したりしている。	計画に沿って、材料が足りないうちに作り直しや返り、自己評価カードの項目全部にマークをつけることができる。	計画に沿って、材料が足りないうちに作り直しや返り、自己評価カードの項目全部にマークをつけることができる。	計画に沿って、材料が足りないうちに作り直しや返り、自己評価カードの項目全部にマークをつけることができる。	・ふりかえりカード(自己評価カード) ・観察
ま	2	7 ためしてみよう 試しの活動を通して、さらに遊びを工夫することができる。 他のグループの遊びを試して、アドバイスを話し合う。	遊びを教える側と教わる側の両方を体験させ、自分の役割が分かるようにする。 一つの遊びに夢中になってしまう児童には、活動の目的(アドバイスを話し合う)が分かるように助言する。			遊びのグループに分かれ、楽しく遊ぶためのルールや遊び方を工夫することができる。	楽しく遊ぶためのルールや遊び方を工夫することができる。	楽しく遊ぶためのルールや遊び方を工夫することができる。	楽しく遊ぶためのルールや遊び方を工夫することができる。	・観察(話し合いの様子など)
れ	2	8 ぼくらの秋の国 ようこそ! みんなで仲良く、ルールを守って遊ぶことができる。 王様やみんなで楽しく遊ぶ。 協力して準備や後片づけをする。	活動の様子や、つぶやきを見取り、個に応じた指導助言をする。 準備や片づけも大切な活動であることを助言し、協力して取り組めるようにする。			工夫した遊びを、友だちや招待した人たちに楽しそうに遊んでいる。	工夫した遊びを、友だちや招待した人たちに楽しそうに遊んでいる。	工夫した遊びを、友だちや招待した人たちに楽しそうに遊んでいる。	工夫した遊びを、友だちや招待した人たちに楽しそうに遊んでいる。	・観察
る	2	7 ためしてみよう 試しの活動を通して、さらに遊びを工夫することができる。 他のグループの遊びを試して、アドバイスを話し合う。	遊びを教える側と教わる側の両方を体験させ、自分の役割が分かるようにする。 一つの遊びに夢中になってしまう児童には、活動の目的(アドバイスを話し合う)が分かるように助言する。			試しの活動を通して、もっと楽しく遊べるようにアドバイスを話し合う。	試しの活動を通して、3グループ以上アドバイスすることができる。	試しの活動を通して、2グループ以上アドバイスすることができる。	試しの活動を通して、1グループ以上アドバイスすることができる。	・アドバイスシート ・観察
活		自己の振り返り 【国語科のねらい】 見聞きした事、経験したことなどについて、順序よく思い出し、語と語や文と文との続き方に注意して書くことができる。 今まで活動してきたことを絵本にまとめる。	秋の国での活動を題材に、国語との合科学習を取り入れる。 書く内容が決まらない児童には、活動の流れが思い出すように「なりきり記録カード」を見るよう支援する。	国語科	書くことの評価	* 生活科としての評価はしない				
動		9 活動の振り返り(表現活動) 自作の絵本を読み聞かせしたり、劇の発表を通して、友だちのよさに気付いたり、がんばった自分に気付くことができる。 【絵本班】・劇班の友達に自作の絵本を読み聞かせる。 【劇班】劇を発表する(相互交流)	絵本班と劇班の相互交流をすることで、頑張った自分や友だちのよさに気付くようにする。 読む視点を示し、内容についての感想を書くように助言する。			絵本の読み聞かせや劇の発表を通して遊ぶと楽しいことに気付いたり、友だちと協力した自分に気付くことができる。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを5枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを3枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを1枚以上書ける。	・作品(絵本・劇のせりふなど) ・アドバイスカード
振		6 時間 振り返り、見直し								
り	1	9 活動の振り返り(表現活動) 自作の絵本を読み聞かせたり、劇の発表を通して、友だちのよさに気付いたり、がんばった自分に気付くことができる。 【絵本班】・劇班の友達に自作の絵本を読み聞かせる。 【劇班】劇を発表する(相互交流)	絵本班と劇班の相互交流をすることで、頑張った自分や友だちのよさに気付くようにする。 読む視点を示し、内容についての感想を書くように助言する。			絵本の読み聞かせや劇の発表を通して遊ぶと楽しいことに気付いたり、友だちと協力した自分に気付くことができる。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを5枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを3枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを1枚以上書ける。	・まとめカード
返	1	9 活動の振り返り(表現活動) 自作の絵本を読み聞かせたり、劇の発表を通して、友だちのよさに気付いたり、がんばった自分に気付くことができる。 【絵本班】・劇班の友達に自作の絵本を読み聞かせる。 【劇班】劇を発表する(相互交流)	絵本班と劇班の相互交流をすることで、頑張った自分や友だちのよさに気付くようにする。 読む視点を示し、内容についての感想を書くように助言する。			絵本の読み聞かせや劇の発表を通して遊ぶと楽しいことに気付いたり、友だちと協力した自分に気付くことができる。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを5枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを3枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを1枚以上書ける。	・まとめカード
り	1	9 活動の振り返り(表現活動) 自作の絵本を読み聞かせたり、劇の発表を通して、友だちのよさに気付いたり、がんばった自分に気付くことができる。 【絵本班】・劇班の友達に自作の絵本を読み聞かせる。 【劇班】劇を発表する(相互交流)	絵本班と劇班の相互交流をすることで、頑張った自分や友だちのよさに気付くようにする。 読む視点を示し、内容についての感想を書くように助言する。			絵本の読み聞かせや劇の発表を通して遊ぶと楽しいことに気付いたり、友だちと協力した自分に気付くことができる。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを5枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを3枚以上書ける。	絵本を読み聞かせたり、劇の発表を見たカードを1枚以上書ける。	・まとめカード
見										
つ	1	今まで活動してきた楽しかったこと、友だちと一緒にがんばったことなどをまとめカードに書く。【自己評価】	自然の中で活動してきた自分や友だち、自然のすばらしさに気付くよう助言する。			これまでの活動を振り返り、季節の変化と自分たちの生活は結びついていることに気付く。	季節の変化を生れから取り入れることができる。	季節の変化を生れから取り入れることができる。	季節の変化を生れから取り入れることができる。	・まとめカード